<table>
<tr><td>科目名</td><td>治療・処置・検査に伴う援助技術</td><td>対象学年・時期</td><td>1年・後期</td></tr>
<tr><td>講師</td><td>専任教員</td><td>単位数・時間数</td><td>1単位・30時間</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">ディプロマポリシー３に基づく。
看護師は医師の指示に基づき診療に伴う検査・治療・処置の一部の実施や、看護援助を行う。診療の場面では侵襲を伴うものが多く、対象の心身に苦痛を与える者も少なくない。また、看護師の活動の場が病院から地域へと多様な場に広がることで、看護師には医療職者として健康状態の解釈や適切な判断・行動が求められる。そのため、科学的根拠に基づき対象者へ安全・安楽・的確(正確)に実施することの重要性と実施するための基礎的な知識・技術・態度を学ぶことは不可欠である。ここでは、無菌操作、創傷管理技術、症状・生体機能管理技術、呼吸・循環を整える技術についての看護援助が実施できるための能力を養う。</td></tr>
<tr><td>講義形態</td><td colspan="3">講義、演習</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="3">1. 治療・処置・検査に伴う援助の必要性と原理・原則に基づく正確で確実な看護技術について理解できる。
2. 治療・処置・検査に伴う看護技術を原理・原則に基づいて正確・確実に実施できる。
3. 治療・処置・検査を受ける患者の心理を理解し、患者の受ける苦痛とプライバシーに配慮することができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">学習内容
(授業計画)</td><td colspan="2">１．　創傷管理技術　講義・演習
包帯法
①巻軸帯の基本
②三角巾を用いた固定法</td><td>事前学習
①基礎看護技術Ⅱ　第８章　創傷管理技術　P292～297を読み、P293の巻軸帯の巻き方の動画視聴を行う
事後学習
②包帯法に関するワークの提出</td></tr>
<tr><td colspan="2">２．　無菌操作
１）無菌操作の基礎知識
２）無菌操作の実際　　演習
①ガウンテクニック
②滅菌手袋の装着
③滅菌物の取り出し方・扱い方</td><td>事前学習
①無菌操作の基礎知識
事後学習
①授業内で指示する</td></tr>
<tr><td colspan="2">３．　呼吸・循環を整える技術
１）吸引　　演習
①中央配管による鼻腔・口腔の吸引
２）吸入療法
酸素吸入療法
①中央配管と酸素ボンベからの酸素吸入
②酸素ボンベの取り扱い
３）中央配管による鼻腔吸引の技術チェック</td><td>事前学習：
①口腔・鼻腔から気管に至るまでの解剖

事後学習：
①酸素ボンベの残量、使用時間について</td></tr>
<tr><td colspan="2">４．　症状・生体機能管理技術
１）生体検査・検体検査に関する介助技術
①検査の目的と種類
②生体検査・モニタリング　　演習
③検体検査</td><td>事前学習：なし
①事後学習:血液検査の目的と項目</td></tr>
<tr><td colspan="2">５．　採血法　　演習</td><td>事前学習：
①採血部位となる静脈の走行と周辺の動脈・神経
事後学習：
①静脈血採血の必要物品と留意点</td></tr>
<tr><td>使用テキスト</td><td colspan="3">系統看護学講座　基礎看護学２　基礎看護技術Ⅰ，医学書院
系統看護学講座　基礎看護学３　基礎看護技術Ⅱ，医学書院</td></tr>
<tr><td>事前学習・
事後学習
(学習を促進できる学修)</td><td colspan="3">内容については「学習内容」を参照してください。
技術においては、講義・演習以外の自分の時間で繰り返し練習を行ってください。</td></tr>
<tr><td>評価基準と
評価方法</td><td colspan="3">筆記試験で評価する。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>